

創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 水越 伸朗

学校だより

第5号

令和5年9月15日



とちのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103



七中 HP URL

優しさと思いやり

校長 水越 伸朗

夏休みが終わり2学期が始まりました。9月とは思えぬ暑い日が続きますが、子どもたちは、前向きに学校生活を送っています。保護者の皆様には、三者面談や部活動の応援等、夏休み中もご協力いただきありがとうございました。

2学期は2年生の校外学習にはじまり、3年生の修学旅行、1年生の農業体験と各学年の取り組みがあります。そして10月には合唱コンクールという大きな行事があります。子どもたちが楽しみにしている行事でもありますし、これらの行事を通して成長していくことができます。ひとりひとりが行事のねらいを理解して、目標をもって取り組むことを願っています。

また、裏面でも紹介いたしますが、2学期から食缶給食が始まりました。配膳の準備に時間がかかるのではないか？という心配もありましたが、保健給食委員や給食当番に協力して、準備を進めることができています。「おいしかった」「汁物が温かい」などと言う声もあり、おいしくいただくことができています。ご家庭においては、給食当番の際に使用した、白衣の洗濯をお願いすることになりますが、ご協力よろしく願いいたします。

さて、2学期の始業式では、夏休みに受けた1本の電話について話しました。その一部を紹介いたします。

～始業式講話より抜粋～

さて、夏休み中に校長先生が受けた一本の電話についてお話しします。ある日の午後、近隣の市にお住まいの年配の男性から電話がありました。内容は、その日のお昼近く、立川駅で青梅線に乗ったところ、立川七中男子バスケットボール部の生徒が座席を譲ってくれました。というものでした。車内は混んでいたのですが、とても助かりました。ということでした。その方は、10年ほど前、七中で働いていたとおっしゃっていました。生徒さんたちによろしくお伝えくださいとのことでしたので、この場で紹介しました。とても、思いやりのある優しい行動ができたと思います。

実は、私も、同じように、高校生の優しさに助けられたことがあります。もう10年以上前の話ですが、帰宅途中、自宅の最寄り駅で降りたところ、夕立にあいました。どうしようかと迷っていると、近所に住む高校生が、「僕、カサ二本持っているから、これ使ってください。」と一本を貸してくれたのです。おかげで、濡れずに帰ることができました。さわやかな笑顔と共に差し出されたカサは、今でも鮮明に覚えています。

もちろん、今回の件以外にも、様々な場面で優しさや思いやりのある行動をとっている七中生が、たくさんいることと思います。また、地域でボランティア活動に参加した七中生もいました。このような行動をとるには、勇気も必要だと思います。勇気を出すのは難しいことでもあります。優しさや思いやりのある行動がとれる人になれるよう、自分を高めていってください。